

通信教育講座バウビオロジー

18

# エコソーシャルな土地秩序と 都市計画

建築家 ヴォルフ=D・ブランク  
建築家 ヴィンフリート・シュナイダー

日本語版監修 豊原 寛明



Institut für Baubiologie + Oekologie, 83115 Neubeuern  
[www.baubiologie.de](http://www.baubiologie.de)



日本バウビオロジー研究会  
Baubiologie Institute of Japan  
[www.baubiologie.jp](http://www.baubiologie.jp)

# エコソーシャルな 土地秩序と都市計画

# 18

1	序言	3
2	都市の歴史	4
2-1	都市とは何か。いかにして都市は発生したか。	4
2-2	都市と、農村のジードルンクはいかに区別されるか	6
2-3	過去と今日の都市配置の事例	7
2-3-1	エトルリア／ローマ人	7
2-3-2	カールスルーエ 精神的に影響を受けた都市設立の事例	8
2-3-3	田園都市とそのほかのコンセプト	8
2-4	格子状都市	11
3	空間	12
3-1	空間（土地）とその計画	12
3-2	土地開発としての街路	15
4	社会の反映としての建築とジードルンク	16
5	計画と土地選択	18
5-1	建築指導計画	18
5-2	外部領域における建設	21
5-3	建設敷地の選択	23
5-4	永大借地（権）	25
6	計画と建設におけるエコロジカル的要請	26
6-1	エコ・システム	26
6-2	都市のエコロジカルな再生	26
6-3	エコロジカルなジードルンクの必要性	30
6-4	女性の状況	31
6-5	建築基準法へのエコロジカルな目標の導入	33
6-6	持続可能な発展（アジェンタ21）	34
7	自己建設とグループによる自助建設	35
8	グループ・プロジェクトのための法形式	38
9	エコロジーの視点	41
	(a)大地 (b) 気候／大気 (c) 水 (d) ゴミ／排水 (e) エネルギー (f) 開発 (g) 交通 (h) 騒音防止 (i) 建物 (j) 住環境 (k) 商業地域	
10	基準法の視点からのソーラー・ジードルンク	58
10-1	ソーラー建築	58
10-2	風力発電装置	59
11	エコ・ジードルンクのための経験と推奨	60
12	私たちはどこへ向かうのか	63
	自己確認問題	66
	参考文献	68
	連絡先住所	71



図14.  
段階的な土地利用をもつ  
中庭住戸の事例

- 公的空間
- 住戸に属する庭
- 私的空間

#### (j)住環境：

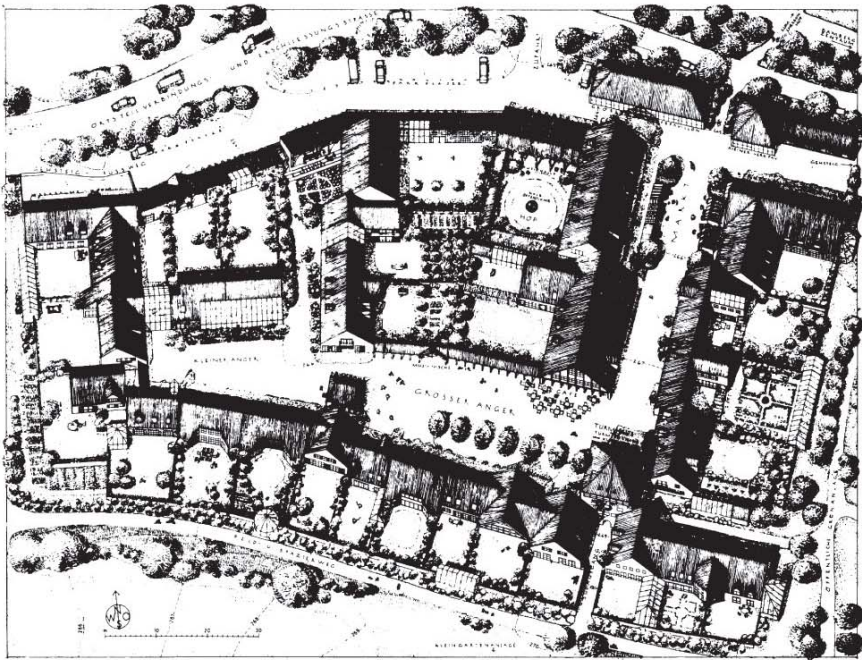
多くの場所では住居以上に、その住環境自身が悲惨である。生活状況から外部との結びつきに乏しい居住状況が生成してしまった。

住居の質、もしくは生活の質にとって、建築技術的、バウビオロジー・エコロジーの判断基準のほかに、居住環境も決定的な意味をもっている。それゆえ以下の質問が立てられる。居住環境はいかにして知覚されるのだろうか。関係性と、アイデンティティ、親しみやすさはどのようにして生まれるのか？多様性は生じうるのか？尺度（スケール）は適切か？人間は守られていると感じるか？建築と環境は人間的な判断基準にかなっているのか（中庭、アーケード、パーゴラ、内庭、守られた庭の角、小さな広場など）？

それゆえ以下のような多種多様な処置が居住環境の改善に有効である。

- ・ 全住人（賃貸人、建物所有者）が庭仕事できるような庭のスペース（例えば建物間の「すきま」）
- ・ 上階の住居から直接庭に出ることのできるような外部階段

- ・テラス
- ・ガラスのかかったオープンテラス、バルコニー、ロτζア、ウインターガーデンの設置
- ・緑化された壁、植栽
- ・野生の生垣、果樹園、野原
- ・例えばガレージの上に屋根緑化
- ・こどものために自然に近い遊び場、様々な要素（水、砂、岩、よじ登れるような木の格子）
- ・境界をつくるブロックなどを回避することによるバックヤードの有効利用（緑化）
- ・池や雨水だめや表水、噴水、鳥の飲み口場などによる水の導入
- ・エコ的な改修（建物の近代化）
- ・壁面緑化と色の造形
- ・共同体を結びつける要素としてウインターガーデンもしくは温室
- ・道の目印（表札）、境界、オープンベンチ、ブロック塀のかわりに藪や生垣による風除け
- ・「前室空間」としての玄関の庇
- ・アプローチ空間の照明デザイン（庭、道）
- ・ゴミ置き場や物置、庭いじりの道具、サウナといった小さな附属建物



多くの上記に指摘された措置は、ここで実現されている。ジードルンクの南には、ジードルンクに属する長期間にわたって賃借りされた広大な、クラインガルテンがある。それは目下フルに使われていないので、一部はビオトープや自然な遊び場として存在している。

図15 エコジードルンク バンベルクのケルボンホーフ  
 [建築家テオドル・ヘンツラー [www.landschaftssiedlung.com](http://www.landschaftssiedlung.com)]